


ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森県立八戸盲	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input checked="" type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	全単元		
	単元(題材)の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・第3学年に担当されている漢字を読むことができる。また、第3学年までに担当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ・漢字が「へん」と「つくり」から構成されていることについて理解することができる。 		
学習集団と実態	学部・学年・人数	小学	部	3年1人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	※個別学習の場合は、個人の本単元(題材)における主な実態を端的に記入する。 ・漢字の読み書きに困難が見られ、音読する際に前学年までの既習漢字を読めないことが多い。また、新出漢字を覚えるためにかなりの時間を要する。		
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称	※使用した ICT 機器（入出力支援装置等）名を記入する。 ・ iPad		
	使用したアプリケーションの名称	※使用したアプリケーション名を記入する。 ・ 筆順アプリ		アプリマーク 
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援)		
	ICT活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字を大きく表示できるので、画数が多い字でも一画ずつ丁寧に確認することができ、正確に漢字を覚えることができる。 ・指でなぞる機能を使うことにより、正しい筆順を覚えることができる。 		
活用の状況と支援	※ICT 活用場面と行った支援について記入する。 ・授業の導入で ICT 機器を使用して筆順や読み方を確認したり、宿題として一日に2つの漢字を復習したりすることで、読める漢字を少しずつ増やすことにつなげている。			